

尾長会報

ともしび

地域で作る福祉の町

発行・文責 地区社協広報部

町内会加入世帯数 5,318 世帯

尾長小学校 運動会

9月24日(土)「熱くなれ 尾長のたましい いざむねに」のスローガンのもと運動会が行われました。台風による休校もありましたが当日は好天に恵まれ「暑い」一日となりました。



手足を大きく振って行進する姿はほほえましく、演技や競技の躍動感は見事なもので感動しました。

それぞれのプログラムの入退場では先生方が大きな声で声援を送られ、児童がそれにこたえるなど信頼し合える関係にも感動しました。

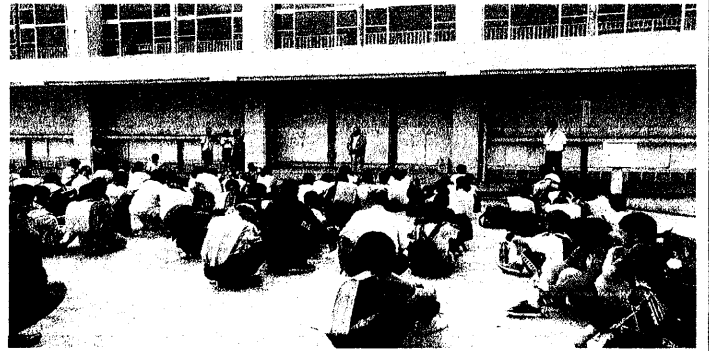
6年生を中心とする係の仕事もテキパキと自主的に行動し最高学年の誇りを感じるものでした。



児童たちが最後まで自信に満ちた表情で楽しそうに参加していた運動会は地域に元気をくれました。

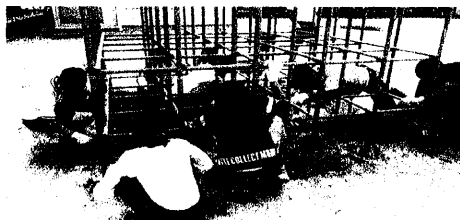


クリーンマイタウン二葉



10月3日(月)14時から二葉中学校区一斉に「クリーンマイタウン二葉」(地域清掃活動)が行われました。中学校2・3年生の生徒と小学校6年生の児童が自分たちの地域をきれいにしながら地域の方と一緒に交流を深める活動です。

中学1年生は校内のトイレ清掃をしました。この活動は、地域を大切にしようとする心を育むことがねらいとされています。尾長地区では、児童・生徒・保護者・地域総勢400名以上の方々がグループに分かれて施設の清掃や公園の草取りなどで汗を流しました。



参加者からは、「暑い中、一生懸命掃除をしてくれました。」

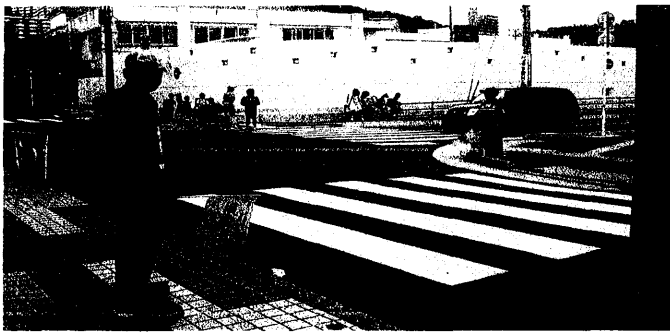
「清掃活動を通して私達地域との交流を深めることができました。」

「リーダーの中学生がテキパキとした指示で、小学生の皆さんも含め全員が明るく楽しみながら清掃に取り組んでくれました。」とあり、生徒も「みんなできれいにするという目標を達成できた」「きれいなトイレになってうれしい」とのこえがあり、地域と小・中学校のつながりの強化を感じることができました。



10/3(月)14:01

下校時における「こどもの見守り」



こどもの見守り

子どもたちが安心して生活しにくくなっている社会、尾長社協の見守り活動に若草町防犯部として参加しています。

週3回、月・木・金に小学生の下校時に防犯の帽子をかぶり見守り隊のベストを着て、尾長小南西交差点と市営住宅あたりを中心に、見守りと同時に交通安全指導もしています。より多くの人が見る、又取り組みを継続させるために、今は高齢者クラブのメンバー10名あたり、いつも6~7名が参加しています。子どもたちが帰る短い時間ですが、声を掛け合ったり交流もできます。この時間だけで子どもを守ることはできませんが、地域で子どもを守っているということは周りの人の意識も変え、防犯上役に立っていると思います。子どもたちが安全で安心して生活してくれることを願っています。 若草町町内会副会長 貞盛 和弘

尾長学区体育協会 10月2日(日) - グランドゴルフ大会 -



場 所：二葉中学校グラウンド
優 勝：光町 山田さん
準優勝：光町 元山さん
3 位：丸山 正木さん

室内雪合戦講習会 10月2日(日)

場所：二葉中学校体育館



12月18日東区大会に向けて頑張ってね♪

平成28年度 東区散乱ごみ追放キャンペーン

～エリア28クリーンキャンペーン～

9月24日(土)10時、220名(公衛協・二葉中等160名、サポート60名)が 饒津神社に集合、3グループに分かれ東区役所までパレードしました。

開会式の挨拶で東区公衛協会長が、現在のカーブの強さの一因と公衛協活動の類似点について、黒田・新井とも個人記録達成が目標でなく、1試合ずつきちんと戦っていけば記録は自然に達成されると。我々は一斉清掃・門前清掃など日々の地道な活動が「キレイな街」「住んでみたい東区」につながると述べられました。通行中の車両や通行人へのPRが主テーマでありましたが、二葉の里歴史の散歩道歩道は手入れに課題があり、今後地元の尾長地区が取り組むテーマと再認識しました。 尾長地区公衆衛生推進協議会会長 桑野 恭彬

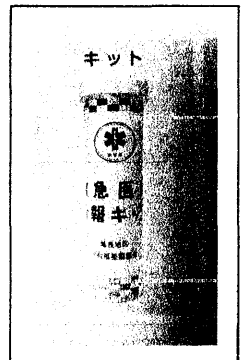


ゴミ追放キャンペーン

「高齢者等安心見守りネットワーク」情報

救急医療キット

ご存知ですよ?



尾長地区では「高齢者等見守り安心ネットワーク」の活動を始めて11月で3年が経ちます。地域みんなで高齢者などをさりげなく見守っていくシステムを実践してきました。協力してくださる方々は200名を超え協力業者(商店、金融機関、病院介護事業所など)も70社以上となりましたが、地域の皆様への認知度は余り進んでいない現状に対策を検討中です。

「救急医療キット」は尾長地区区内で500近く配布されていますがまだまだご存知ない方が多いのが現状です。ご近所で気になっている方の心配の声はよく聞こえます。また、「救急医療キット」は、冷蔵庫に入れておくことで急な時に役に立つこともあります。

是非、民生委員や包括支援センター、町内会長などに気軽に相談してみてください。